

【出題方針】

将来エアラインのパイロットとして航空界で活躍することを志す者には、航空業界の動向や課題に幅広く関心を持ち、その本質を理解し解決策を考える姿勢が求められます。また、パイロットは様々な人々と協働する職務であるため、自らの考えや提案を的確に表現し、相手に伝える能力も求められます。

出題にあたっては、航空業界への関心の深さ、物事を体系的に捉え筋道を立てて考える力、そして自分の考えを的確に表現し相手に伝える力を評価します。そのため、一般に広く知られている航空界の最近の出来事や取り巻く環境を題材に取り上げています。常日頃から社会の動向に注意を払い、航空に関するニュースや情報の本質を理解し、自らの意見や課題認識、解決策について論理的に考える習慣を身につけておくことが大切です。

【評価の観点】

- 小論文記載の際の約束事を十分に確認しましょう。
形式的な要件について充足しているかを確認します。具体的には字数制限（600～800 字）を満足しているか、誤字や脱字がないか、受験番号や氏名の記載が間違いなくされているか、等の要素により、安全な航空機操縦を行う上で重要な注意力、発見力を評価します。
- 与えられた質問の意味をよく理解した上で、自分の持っている知識をフル活用しましょう。
小論文の課題に対して、的を射た回答が行われているか、回答内容は表面的な内容ではなく自己の知識を活かし体系的に整理した記述となっているかを確認し、物事を体系的にとらえる力、習得した知識を活用・応用する力を評価します。
- 小論文作成の際は、文章の構成を事前に練り、わかりやすく表現するようにしてください。
文章表現や小論文記載の内容の骨子が起承転結に沿った流れとなっているか、記述内容がわかりやすい内容や表現となっているか、を確認し、自らの考えを相手に的確に伝えるコミュニケーション力を評価します。
- 以上の点を総合的に評価し素点を決定します。

【2026年度 パイロット特別選抜 小論文 出題意図】

いずれの出題テーマも、航空業界に関心を持つ受験生であれば、普段ニュースや記事で目にする内容です。一般的に流布している対策や解説を表面的に理解するのではなく、与えられた課題に対して自ら論理的に思考し、自己の意見や提案を整理したうえで、的確に相手へ伝達する能力を評価することを意図しています。